

## 資料5

実証試験結果報告書の概要版（案）  
（例：富山県が実施する土壌処理方式）

し尿処理方式	土壌処理
環境技術開発者	（株）リンフォース
実証機関	富山県
実証試験機関	富山県環境科学センター等

## 1．実証対象技術の概要（ 実証申請者自身の記載にもとづく）

し尿処理フロー	<pre> graph LR     A[簡易水洗便器] --&gt; B["便槽兼消化槽 (嫌気処理) (腐敗槽)"]     B --&gt; C["接触消化槽 (嫌気処理)"]     C --&gt; D["土壌処理槽 (好気処理)"]     D --&gt; E[地下貯水槽]     E -- 洗浄水 --&gt; A </pre>
技術概要	<p>し尿と洗浄水を便槽を兼ねた消化槽（腐敗槽）で一次処理する。接触消化槽で浮遊物等を除去し、二次処理した処理水を土壌処理槽に送る。</p> <p>土壌処理槽はプラスチックシートで囲み、外部への浸透漏れを防ぐ構造で、中に好気性菌を含む土壌が入っており、処理水を地表面に近い土壌の中に毛細管浸潤という方法で送り込む。土壌層を浸透していく過程で分解し浄化する。</p> <p>浄化した水は、プラスチックシートの底面にある地下貯水槽に溜まり洗浄水として再利用する。</p> <p>処理自体に電力は必要としない。</p>

## 2．実証試験の概要

## 2 - 1．実証試験期間

試験期間	平成15年10月15日 ~ 平成16年10月14日
越冬試験の有無	有

## 2 - 2．実証試験場所の概要

名称	一ノ越公衆トイレ
所在地住所	中新川郡立山町芦峯寺
所在山岳地（設置場所の標高）	立山・浄土山の鞍馬（通称：一ノ越）（標高 2,700m）
トイレ所有者	富山県

### 2 - 3 . 実証試験場所の条件

自然条件	気温	( 最高 : 15.5 、 最低 : -15.6 、 平均 : -1.2 )
	雨量	5,000 ~ 6,000mm / 年
	積雪状況	平均 4 m前後
インフラ条件	搬出入手段	ヘリコプター
	電気	なし
	水	雨水等
利用条件	供用期間	7月 ~ 10月
	使用停止期間	11月 ~ 6月

### 2 - 4 . 実証対象技術の仕様及び処理能力 ( 実証申請者自身の記載にもとづく )

装置名称	サンレット	
設置面積	W. 7,700mm × D. 14,600mm × H. 1,400mm ( 81,272m <sup>2</sup> )	
必要水量	初期水として10 t	
必要電力量	なし / ただし、本実証試験場所では処理水の循環動力の一部としてソーラーエネルギーを利用	
処理能力	平常時 :	1,000人回 / 日
	利用集中時 :	1,500人回 / 日
	稼働条件	
	維持管理	
	快適性	
	処理性能	

### 3 . 実証試験結果

#### 3 - 1 . 稼働条件・状況

項目	実証結果
利用状況	利用集中時 ( 7月 日 ~ 8月 日 )
	( 利用集中時 : 最高 人 / 日、平均 人 / 日 )
	( その他 : 最高 人 / 日、平均 人 / 日 )
気温	最高 : 、最低 : 、平均 :
利用人数 と気温の グラフ	

#### 3 - 2 . 維持管理性能

項目	実証結果		
	作業量	頻度	作業性
日常管理	人員 時間	回 / 月	
専門管理	人員 時間	回 / 月	
開閉山対応	人員 時間		
発生物の搬出 及び処理処分	人員 時間		
トラブル対応	人員 時間		
マニュアルの 信頼性			

### 3 - 3 . 室内環境

項目	実証結果
温度	最高：           、最低：           、平均：
	コメント
湿度	最高：           %、最低：           %、平均：           %
	コメント
許容範囲	

### 3 - 4 . 周辺環境への影響

項目	実証結果
土地改変状況	
周辺土壌	

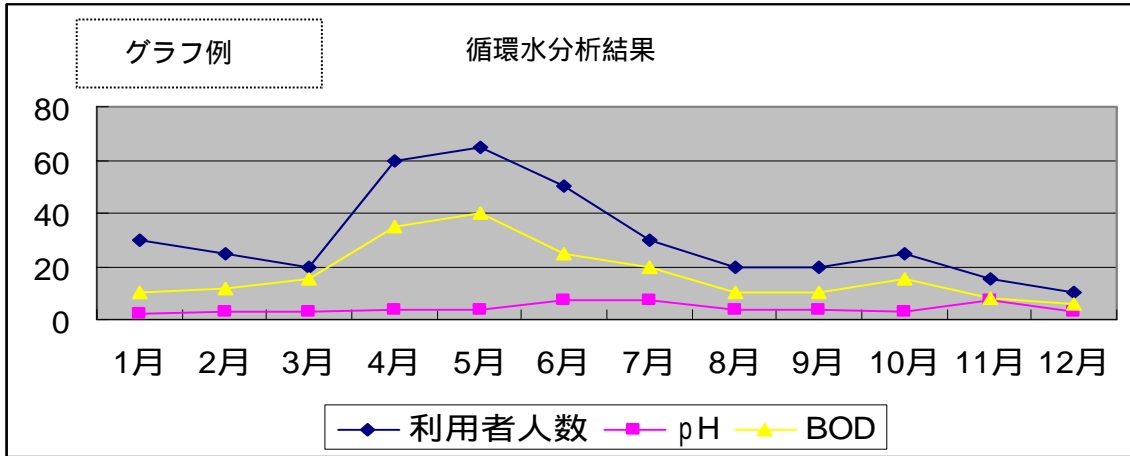
### 3 - 5 . 処理性能

下表では、実証項目の結果範囲および考察を示す。ただし、分類項目において複数箇所から試料を採取している場合は、快適・衛生性、周辺環境への影響、最終処理・処分場への影響、という視点から最も代表的な試料結果を記載する。

例えば循環水であれば、快適・衛生性という視点から、洗浄水に使用する寸前の水（洗浄タンク水等）のデータとする。汚泥であれば 最終処理・処分場への影響という視点から、搬出場所から採取された汚泥データを示す。

分類項目	実証項目	実証結果	
		分析結果	考察
単位装置の稼働状況			
循環水		～	
		～	
汚泥		～	
		～	
オガクズ・杉チップ等		～	
		～	
焼却灰・炭化物等		～	
		～	
排ガス等		～	
		～	

グラフは利用者人数との相関関係が分かるように作成する。また、分析項目で関連性が高い項目については同じ表に表示する。



#### 4. まとめ

